

大島地区不登校等対策研修会

趣旨

不登校等の未然防止，早期発見・早期対応のために大島地区の現状と基本的な考え方を学ぶことで，生徒指導担当者等の資質を高めるとともに，各学校での対応の充実に資する。

参加者

小中学校の生徒指導主任（係），養護教諭，SC，SSW，市町村教育委員会指導主事等

実施日

7月30日(月) 徳之島町生涯学習センター 8月2日(木) 大島支庁奄美会館

講話

「不登校傾向及び不登校の児童生徒，その保護者の理解と支援」

鹿児島大学大学院教育学研究科 有倉巳幸 教授



☆信頼関係をつくる

あなたを責めないというメッセージを送る

相手が自分に非があると考えていると思いがち

→明確な「あなたを責めない」というメッセージ

→悪い結果が自分に生じない可能性を高める

☆再登校への支援

リソースを活用する

- ・「できる」ことを活用する。
- ・周囲のリソースも用いる。

他者との関わりを増やす

- ・信頼できる他者を増やす。
- ・不安と不信を回復する。

演習

「家庭訪問時や登校時の支援に関する演習」



☆保護者との関わり方の基本的姿勢

カウンセリング的関わり

- ・共感的理解に終始する。
- ・楽な表情を目指す。
- ・次の相談につなげる。

見方を否定しない！

- ・多様な視点から理解する。
- ・間違っていると思わない。
- ・家庭では行動が変わる。

☆保護者との関わり方の留意点

→できるだけ一人で対応しない。

→関わりを絶たない。(定期的なメッセージが効果的)

→謙虚な姿勢で話を聞き，理解する。(アドバイスしない)

→教育委員会やSCを積極的に活用する。(同一歩調で)

参加した先生方からは、「不登校児童生徒やその保護者の心理をよく理解し，信頼関係をつくることが大切であることが分かった。」「課題のある保護者に対しても，子どもの再登校につなげるため，カウンセリング的な関わりに心掛け，定期的に連絡を取り続けるようにしたい。」との感想が聞かれました。